

(3) 牡丹平・北・上十川・六郷地区



人口	10,058 人
世帯	3,100 世帯
面積	3,601.9 ha

■地区の概要

牡丹平・北・上十川・六郷地区は、本市の北部に位置し、ほぼ中央を東北自動車道が縦断している。その西側は、水稲単作地区で、東・中部・西部地区と接する主要地方道大鰐浪岡線沿いには、北地区工業団地が立地している。

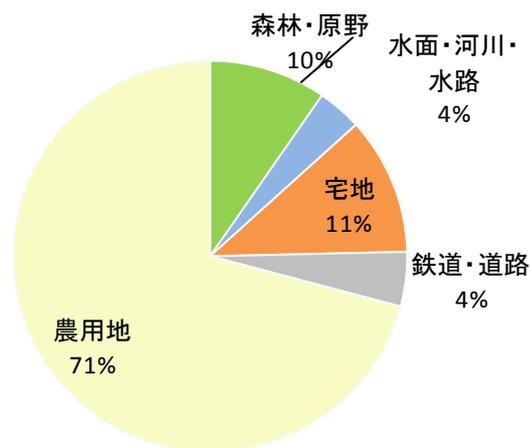
土地利用割合を見ると、地区の特性を反映して、農用地が全体の7割以上を占めている。

主な幹線道路としては、東北自動車道、主要地方道大鰐浪岡線が地区内を通過している。

地区内の主な地域資源としては、牡丹平地区のりんご研究所や津軽広域水道企業団、北地区の青森県産業技術センター、上十川地区の法峠寺、六郷地区の黒石地区清掃施設組合環境管理センターなどが挙げられる。

人口は、平成17年現在で10,058人であり、平成2年以降大きな変動はない。世帯数は、平成17年現在で3,100世帯であり、平成12年までは増加していたが、平成12年から平成17年にかけてはやや減少している。

牡丹平・北・上十川・六郷地区の面積は3,601.9haで、この内、2,520.6haが都市計画区域に指定されている。



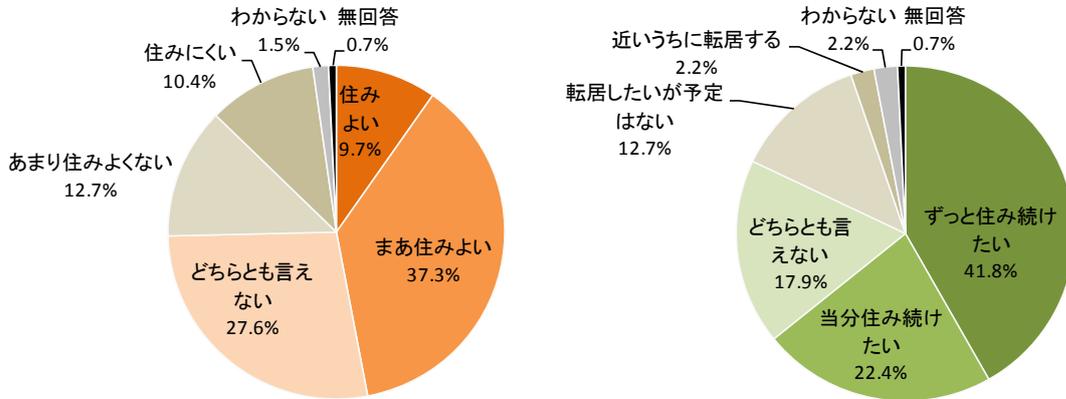
※都市計画区域内の土地利用割合



■地区住民のまちづくりの評価 《 アンケートから 》

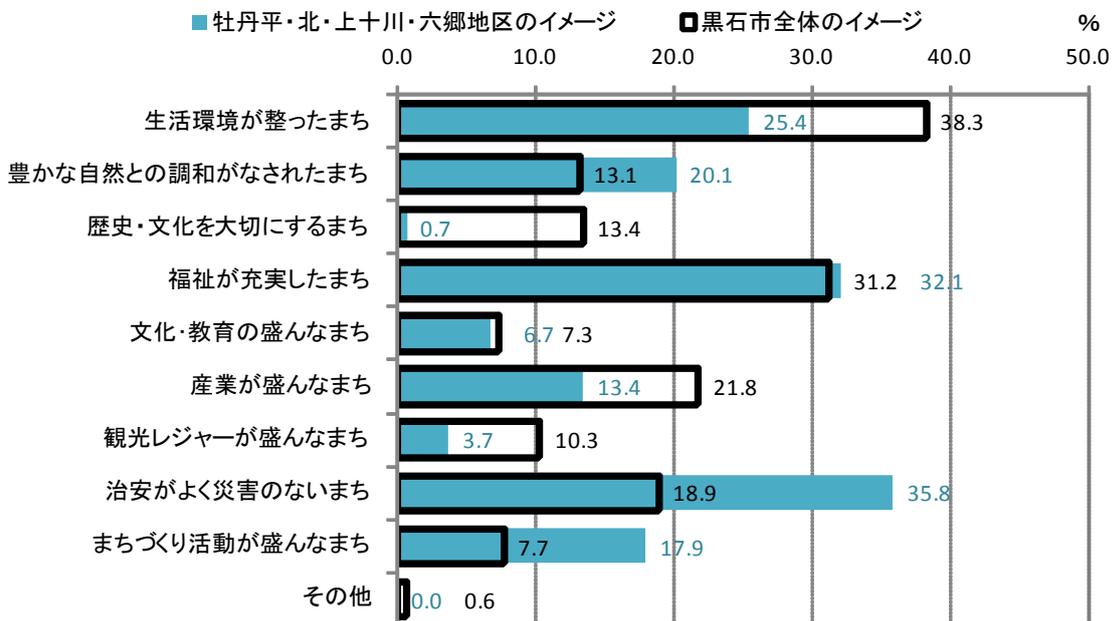
有効回答数：455票

【住み良さと今後の居留意向】



牡丹平・北・上十川・六郷地区では、「住みよい」と答えた人が9.7%、「まあ住みよい」と答えた人が37.3%おり、一方、「住みにくい」「あまり住みよくない」「どちらとも言えない」と答えた人が50.7%となっている。定住意向については、「ずっと住み続けたい」「当分住み続けたい」と答えた人は64.2%、「転居したいが予定はない」と答えた人は12.7%となっている。

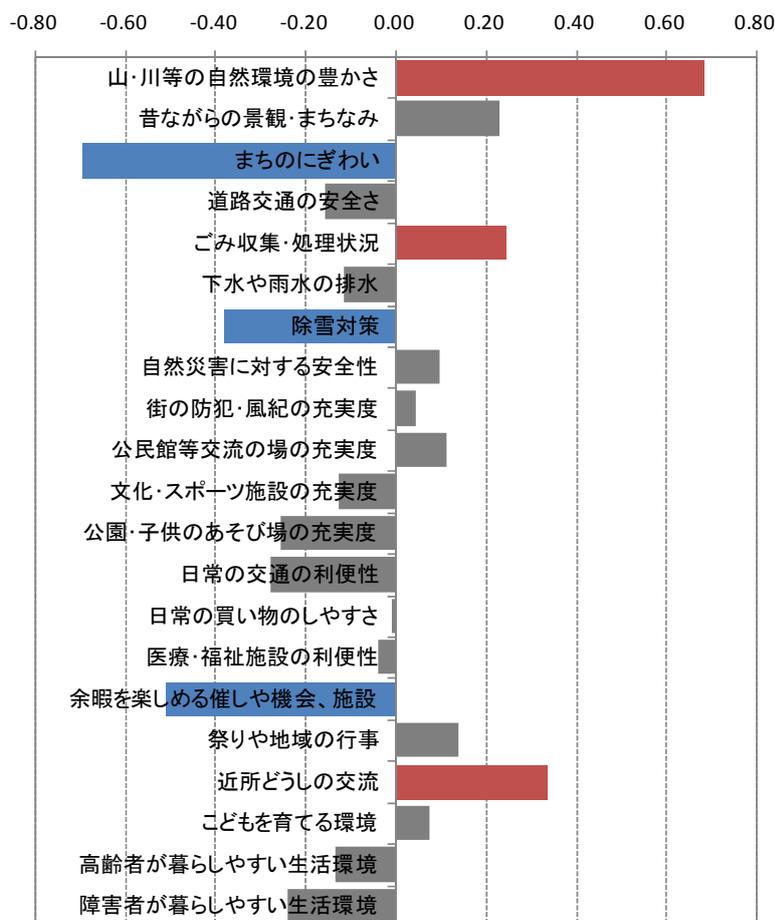
【20年後に期待するまちのイメージ】



「黒石市全体の将来イメージ」と「牡丹平・北・上十川・六郷地区の将来イメージ」についてアンケートを行った結果である。

黒石市全体では、「生活環境が整ったまち (38.3%)」、「福祉が充実したまち (31.2%)」、「産業が盛んなまち (21.8%)」が挙げられている。一方、牡丹平・北・上十川・六郷地区では「治安がよく災害のないまち (35.8%)」、「福祉が充実したまち (32.1%)」、「生活環境が整ったまち (25.4%)」が多く挙げられている。

【住環境での満足度】



満足度の高い項目より満足度の低い項目が多くなっている。
 プラス評価の項目のうち最も満足度が高かったのは「山・川等の自然環境の豊かさ」であり、次いで「近所どうしの交流」「ごみ収集・処理状況」である。
 一方、「まちなぎわい」「余暇を楽しめる催しや機会、施設」「除雪対策」で満足度が低くなっている。

【自慢できるもの、将来に残し伝えたいもの】

祭り・催し	・黒石よされ祭り ・黒石ねふた ・旧正マッコ市	自然風景等	・中野のもみじ山 ・青荷温泉 ・東公園の桜	特産物	・りんご ・こけし ・黒石のやきそば
文化財	・重要伝統的建造物群 保存地区 ・中野神社 ・高橋家住宅	文化・観光施設等	・りんご研究所 ・津軽こけし館	※各項目の上位3位まで	

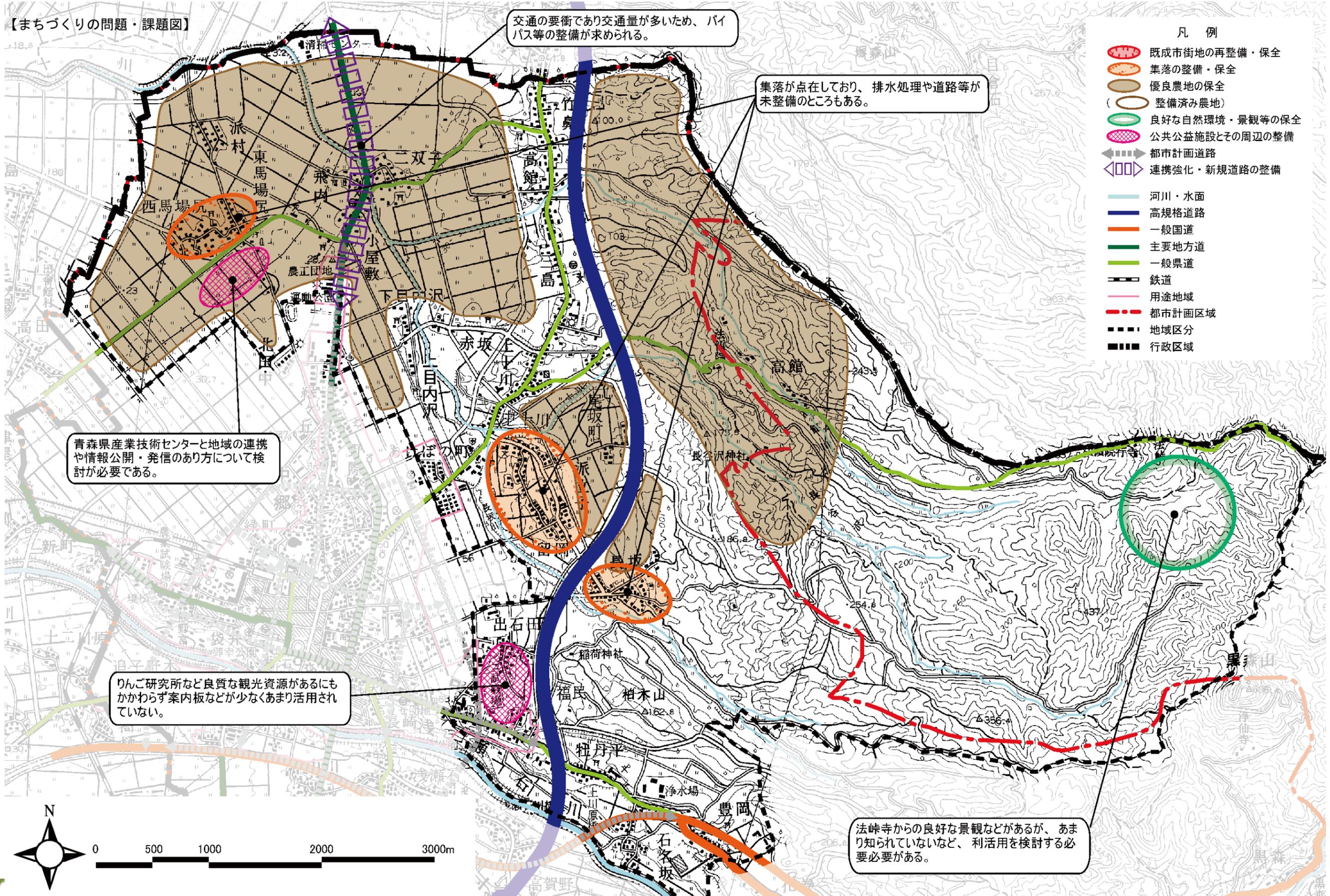
■現況写真

	<p>[青森県産業技術センター]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広大な敷地面積を有するセンターは、農林関係では、県内で最も規模の大きい施設である。 ・ 周辺は平坦な田園地域であり、見晴らしの良い空間が広がっている。
	<p>[法峠寺]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 黒石の中心部より約 6km の山岳地に位置している。 ・ 法峠寺からは、弘前市街地や岩木山の良好な眺望が広がる。 ・ 黒石市では有数のウォーキングコースがあり、定期的に利用されている。
	<p>[りんご研究所]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本唯一のりんご資料館の建物は周囲と調和しており、庭先の花壇などの手入れも行き届いている。 ・ 研究所内には 109 歳のりんごの木が植えられている。
	<p>[津軽広域水道企業団]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の日常生活を支える浄水場がある。
	<p>[田園風景]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平坦な土地が続いており、視界を遮る建物もなく、田園風景が広がっている。 ・ 岩木山の見晴らしが良好である。

■まちづくりの問題・課題

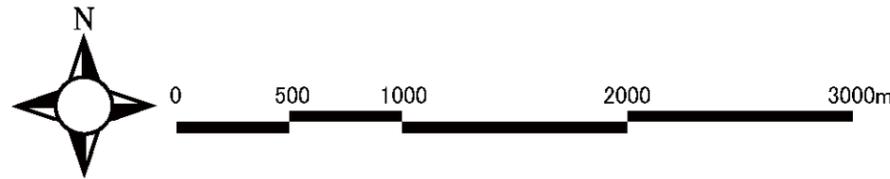
まちづくりのテーマ	まちづくりの問題・課題	まちづくりの動向
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区内にある優良農地については積極的に保全を図る必要がある。 ・ 集落が点在しており、排水処理や道路等が未整備のところもある。 	
自然環境・景観	<ul style="list-style-type: none"> ・ 豊かな山林や地区の自然緑地については保全を図る必要がある。 ・ 地区内には広大な田園が広がっており、その積極的な保全と田園風景について観光資源としての活用が望まれる。 ・ 法峠寺からの良好な景観などがあるが、あまり知られていないなど、利活用を検討する必要がある。 ・ 優良農地の保全が求められている。 ・ 北国の特性でもある、雪の有効利用について検討が望まれる。 	
道路・交通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法峠寺までの道のりは険しく、狭隘な箇所もあり、利用を促すためには案内板の設置などが必要である。 ・ 集落内の道路の必要に応じた改善及び周辺地区との連携を強化する道路が望まれる。 ・ 地区を南北に縦断する主要地方道大鰐浪岡線は交通の要衝であり交通量が多いため、バイパス等の整備が求められる。 ・ 住宅地において、狭隘歩道や段差等により歩行者・自転車の安全で快適な交通環境が確保されていない。 ・ 市内循環バスぶらっと号の利便性の向上が望まれる。 ・ 旧道を活用した、歴史史跡巡りなどの街道の形成が望まれている。 ・ 幻の県道について歴史を巡る街道としての活用が望まれる。また、浄仙寺及び文学の森など隣接する地区の観光資源などとの連携を図る路線の確保が望まれる。 ・ より適切な除排雪体制の充実による冬季の交通確保が望まれる。 	
施設整備等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活排水処理施設について、未整備の区域がある。 ・ りんご研究所など良質な観光資源があるにもかかわらず案内板などが少なくあまり活用されていない。 ・ 青森県産業技術センターと地域の連携や情報公開・発信のあり方について検討が必要である。 	

【まちづくりの問題・課題図】



凡例

- 既成市街地の再整備・保全
- 集落の整備・保全
- 優良農地の保全
- (整備済み農地)
- 良好な自然環境・景観等の保全
- 公共施設とその周辺の整備
- 都市計画道路
- 連携強化・新規道路の整備
- 河川・水面
- 高規格道路
- 一般国道
- 主要地方道
- 一般県道
- 鉄道
- 用途地域
- 都市計画区域
- 地域区分
- 行政区域



■まちづくりの方針

◎まちづくりのテーマ

『獅子踊る、伝統芸能の里』

◎まちづくりの基本方針

- ・青森市方面からの玄関口として良好な田園と調和するまちづくりを進める。
- ・豊かな自然環境と田園があると共に歴史のある寺院や伝統芸能（獅子踊り）などが盛んな地区でもあることから、これらの豊かな自然・歴史・文化を大切にされた風格が漂うまちづくりをめざす。

【土地利用】

既存集落においては、安全性や利便性、快適性の向上をめざし、地区環境の向上を図る。地区の大半を占める山林と優良農地の積極的な保全を図る。

【自然環境・景観】

北東部に広がる山林や優良農地については、水源の維持・また景観形成要素として、その保全を図る。田園地帯に関しては、良好な田園景観・風景の保全を図る。また、北国特有の雪を観光資源等として有効利用する方策を検討する。

【道路・交通】

主要地方道大鰐浪岡線をはじめとした主要幹線道路は、広域的な連携を担う路線として、その機能の適切な維持を図る。

集落内の生活道路については、狭隘な歩道や段差の解消など、歩行者・自転車の安全で快適な交通環境の確保について検討する。

幻の県道や法峠寺などについて歴史を巡る街道としての活用方策を検討するとともに、浄仙寺及び文学の森をはじめとした隣接する地区の観光資源などとの連携を図る。

公共交通機関として、市内循環バスぷらっと号の利便性向上を図る。

より適切な除排雪体制の充実による冬季の交通確保を図る。

【施設整備、その他】

合併浄化槽など、地区に応じた適切な排水処理について検討する。

青森県産業技術センターやりんご研究所などの農業関連施設と地域の連携のあり方について検討を行う。

法峠寺を活用したウォーキングコースのPRや、美しい自然を活かした体験型レクリエーションを検討する。

各地に点在する地域資源を活用するために、案内板の設置や情報発信のあり方などを検討する。

【まちづくりの方針図】

山林と優良農地の積極的な保全を図る。

安全性や利便性、快適性の向上をめざし、地区環境の向上を図る。集落内の生活道路については、狭隘な歩道や段差の解消など、歩行者・自転車の安全で快適な交通環境の確保について検討する。

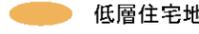
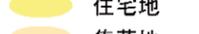
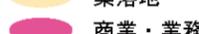
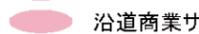
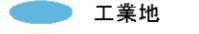
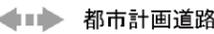
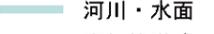
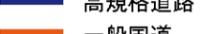
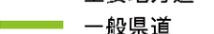
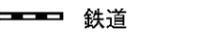
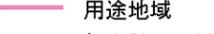
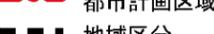
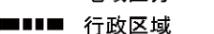
青森県産業技術センターと地域の連携のありかたについて検討を行う。

りんご研究所と地域の連携のありかたについて検討を行う。

北東部に広がる山林や優良農地については、水源の維持、また景観形成要素として、その保全を図る。

浄仙寺をはじめとした隣接する地区の観光資源などとの連携を図る。

法峠寺を活用したウォーキングコースのPRや、美しい自然を活かした体験型レクリエーションを検討する。

- 凡 例
-  計画的な土地利用を促進する区域
 -  公共公益施設及び拠点整備
 -  自然環境や歴史的環境の保全を図るべき区域
 -  低層住宅地
 -  住宅地
 -  集落地
 -  商業・業務地
 -  沿道商業サービス地
 -  工業地
 -  農地
 -  大規模公園・緑地
 -  山林
 -  都市計画道路
 -  河川・水面
 -  高規格道路
 -  一般国道
 -  主要地方道
 -  一般県道
 -  鉄道
 -  用途地域
 -  都市計画区域
 -  地域区分
 -  行政区域

